

寝屋川工場60年の歩み



Products

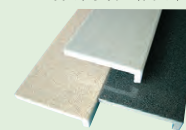
NP…高性能樹脂加工品



3DP…3Dプリンター



KW…合成木材（樹脂）



KW…クランパリエ



SWP…サンドイッチパネル



KP…クラパワーシート



GK…現場発泡ウレタン



KF…クランフィル



所在地：大阪府寝屋川市

工場面積：37,000㎡

建物：19,000㎡

寝屋川工場 ヒストリー

- 1962年 寝屋川工場竣工
軟質ウレタンフォームの生産開始
- 1964年 硬質ウレタンフォームの生産開始
- 1971年 合成木材生産開始、クランベター（HM接着剤）生産開始
- 1974年 硬質ウレタンサンドイッチパネル(SWP)生産開始
- 1983年 クランフィル（精密ろ過膜）開発・生産開始
- 1986年 クランフロン（フッ素樹脂製品）開発・生産開始
- 1995年 軟質ウレタンフォーム生産を鴨方工場へ移管
- 1998年 クランベター（HM接着剤）生産を安城工場へ移管
- 2001年 ISO9001(品質)認証取得
- 2004年 ISO14001(環境)認証取得
- 2005年 寝屋川テクノセンター竣工
- 2006年 クランパリエ(アルミインサート樹脂化粧材)開発・生産開始
- 2010年 定着ロールチューブ(LT)移管・生産開始
- 2012年 硬質ウレタン(SWP・GK)JIS製品認証取得
- 2013年 クランフロン（フッ素樹脂製品;FS）を
熊本開発センターへ移管
- 2018年 LT生産終了、高性能樹脂加工品(NP)開始
硬質ウレタンJISQ17025(試験・校正能力)対応
- 2019年 クラパワーシート(KP)開発が安城工場より移管
スマートファクトリー化に着手
- 2020年 ISO45001(安全)認証取得
- 2021年 建設用3Dプリンティング(3DP)開発開始

寝屋川工場と労組寝屋川支部は、2022年11月27日に竣工・結成60周年の節目を迎えることとなります。

工場竣工当時の1962年の写真を見てもみると、工場の周辺には田畑が広がるのどかな風景でした。

60年経った今では、住宅に囲まれ、地域住民の方との共生が

必須となっている事業所で、60年という時の長さを感じます。

クラボウでは関西唯一の工場として化成品事業部のさまざまな事業が集約されており、社内外の多くの方にご来場いただいております。お近くにお越しの際には、60周年を契機に職場改善・変革を進める寝屋川工場をぜひご覧になってください。

佐野工場長よりごあいさつ



寝屋川工場は、化成品最初の工場として1962（昭和37）年に誕生しました。今年で無事60年の節目を迎えることができましたのも、地元寝屋川市をはじめ、諸先輩方、従業員の方々の並々な努力のたまものであると感謝いたします。

当工場は、軟質ウレタンからスタートし、硬質ウレタン、合成木材、接着フィルム、精密薬液フィルター、定着ロールチューブなど多岐にわたる展開・転換を行ってきました。2018（平成30）年には、精密製品事業の東の拠点として、高機能樹脂加工品が始まり半導体市場活況の中、業容拡大が続いています。

令和に入って、炭素繊維を用いた補強用基材や建築用3Dプリンティングの開発拠点が設置され、次の事業拡大が期待されております。

また、目まぐるしく変化する環境への対応や働き方改革も重要です。しかし、資源・戦力には限りもあるため「ものづくり変革スマート化」を推進しています。これは、機械やソフトにできる仕事はスマートに任せて

「速く、正確に、楽に」補って、人は「思考し、チャレンジし、新たな創造へ」により多くの時間と力を注ぐことです。

この活動を地道に推し進め、複合マザー工場として、自覚と責任感を持って、飛躍する工場にすべく従業員一丸となって取り組んでまいります。

みんなで高めよう

安全力 品質力 環境力

ISO45001・9001・14001 認証取得

部署の紹介

■製造課 平課長より

製造課では、多岐にわたる製品の生産をしています。

製品によって、材料、生産方法・体制、用途、品質要求事項、歴史等、さまざまです。各製品群の良い点を取り入れながら、課一体となって、品質・コスト改善・納期厳守に取り組んでいます。

改善活動は活発で、化成品改善サークル中央大会では、直近6年間で5度最優秀賞を受賞し、最近では、スマート化を積極的に取り入れ改善レベルも日々向上しています。

今後も、安全・環境面に配慮しながら、利益を生む工場への変革を目標に取り組んでいきます。



▲改善サークル中央大会 最優秀賞受賞（2022年5月）

■開発課 横田課長より

開発課は製造4部門の開発部門と品質管理の計5部門からなっており、また近年新たに技術統括部のKP・3DP開発部門と品質保証が工場駐在として加わっています。今では総勢20人のにぎやかな部署です。

取り扱う開発テーマは、部署毎でさまざまですが、今後はいずれの部署も環境・安全が開発のポイントになります。

また、それらを効率的に進めるためにはIT活用も肝要だと考えます。

節目にあたり温故知新の心を忘れず魅力ある製品開発に取り組んでいきたいと思っております。



▲住宅用合成木材 クラティスエコ

◀建設用3Dプリンター XtreeE（エクストリー）